

国語科 中学校3年

単元名 古典に親しむ
「学びて時にこれを習ふ」
—「論語」から—
光村図書「国語3」

単元の流れ（全4時間）

第1次【第1時】

主な学習内容

- ・ 論語、孔子について概略を理解する。
- ・ 漢文の基礎知識についてワークシートを使って確認する。
- ・ 漢文を音読する。

第1次【第2時】

主な学習内容

- ・ 漢文を音読する。
- ・ 「学びて時にこれを習ふ」についての解説を聞く。
(発表のモデル)
- ・ グループに分かれて、与えられた課題について調べたり考えたりする。(3課題を2グループずつ振り分ける)

「活用」の力育成のために

漢文独特のリズムや言い回しをしっかりと身に付ける。①

第2次【第3時】（本時）

主な学習内容

- ・ グループで調べたり、考えたりしたことを二人組で他のグループに説明してまわる。
(ワークシートの利用)

「活用」の力育成のために

二人組になって他のグループに自分のグループの考えを発表することで、一人一人に主体的に取り組ませる。③

第3次【第4時】

主な学習内容

- ・ 資料集などを使って孔子の言葉をさらに知る。
- ・ 「論語」の言葉から、孔子の人物像について考えたことをまとめて発表する。

単元目標

- 「論語」を読み、現代に通じる人間の生き方に対する観察や思索を読み取り、自分のものの見方や考え方を深める。
- 漢文独特の言い回しやリズムに慣れ親しむ。

単元構成の意図

- ・ 漢文独特のリズム、言い回しに触れることで、漢文の世界に興味・関心をもたせる。
- ・ 人間の生き方についての孔子の観察や思索をとらえ、自分のものの見方や考え方を深めさせる。

「活用」の力を育てるポイント

- ① 毎時間音読を繰り返し行うことにより、漢文独特のリズムや言い回しに慣れ親しむ。
- ② グループで調べたり、話し合ったりすることで、「論語」に込められた孔子の考えをつかむ。
- ③ 二人組になって他のグループに自分のグループの考えを発表することで、積極的にグループ学習に取り組ませ、一人一人に主体的に取り組ませる。